



Fujimi_3_Haizara-Cho(Rinzo_Shimizu)

Search

Search results

2007-11-13

そろそろ紅葉

午前、いやにこのnucleusが遅いなと思っていた。
速くするpluginもあるようだが、たまにそういうことがある。
ちなみに、apacheのlogをリアルタイムで見るには、サーバのrootで、
`#tail -f /var/log/apache/access.log`
とする。停止はCtrl+C。
どんどんアクセスの状態を示す記録が流れていく。



上はpovrayでサンプルをレンダリングしたバケツ。

23:59:00 - belle - No comments

2006-02-01

web server Apacheの設定

冬の雨の寂しさは本当にいい。
冬の雨は見ていると、なにか落ち着いてくる。

今日は新マシンで、web server Apacheの設定をした。
とはいっても、細かいweb pageの設定はそのままコピーしたのではダメなので、終わったわけではない。
覚え書きは、blosxom blogのほうに書いておくつもりである。

23:25:09 - belle - No comments

Navigation

[Today](#)
[Archives](#)
[Admin Area](#)

Search



Login

ログインID:

パスワード:

 このPCを他の人と共用する

Powered by

**2009-10-07**

ビデオカードのファンを取り換える、自宅サーバのトラブルの経過 その8
現在3台のLinuxマシンが動いている。だいぶ前にサーバのビデオカードのファンが不調になって取り換えたことがあった。ビデオチップ=GPUもパソコンでは大事な箇所だ。

ビデオカードのファンの不調は2回ぐらい経験したので、あらかじめ控えに1つ置いてある。取り換えてからファンを替えてなかったのでZalmanのVGAクーラー（GPUクーラー）に取り換えた。

約10分ぐらいでできる。

写真は、まず古いファン部分を取り外すところ。

次にGPUにシリコングリス（製品に添付されている）を塗ったところ。

新しいファンを装着したところ、である。





+

自宅サーバのトラブルの経過 その8

apacheを1.3から2.2にする

Webサーバ\apacheはDebian GNU/Linux lennyの場合、最初にOS (lenny) をインストールする場合、apache2.2が自動的にインストールされる(あ、違うかな^。#apt-get install apache2でインストールする)。もし、1.3系を動かしつつけるなら、手動でインストールしなければならない。
灰皿町の場合、今度のサーバからapache2.2にしたので、ほかのもしておくことにした。

lennyでは、apache2が2.2を指す。apacheは1.3を指す。そこで、

```
#apachectl stop
```

を実行して動いているapache1.3を止める。さらに自動的に再起動したときにスタートするようになっているので (apache2を止める場合には「apache2ctl stop」)、

```
#update-rc.d -f apache remove
```

とする。

ここからapache2.2 (lennyではapache2と呼ぶ) のインストールである。Document rootは同じなので、インストールするとすぐにapache2.2によってwebページが反映されるが最初いくつかもたついた。

```
#aptitude install apache2
```

aptitudeを使ってみた。依存関係の解決に優れているという。apt-getとaptitudeは緊密に連携している。

なぜかuserdirのモジュールが動いていなかった。

```
#a2enmod userdir
```

とする。

さらにPHP4を使っていたので、PHP5にupgradeした。

```
#aptitude install php5
```

Mysqlはすでに5に自動的になっているが、php5とMysqlの連携するプログラムを入れておかなければならない。たとえば、

```
#apt-get libapache2-mod-php5
```

「apt-cache search php5」とするといろいろ出てくるので、いくつかインストールする必要がある。

「php5-cli」はコマンドラインでスクリプトを使えるのでぼくはインストールした。

php5をインストールして動作確認をして「#aptitude purge php4」として古いバージョンを削除した。

apacheの設定は、1.3から大幅に変更された。わかれば、設定は1.3より楽だ。

「/etc/apache2/sites-enabled」にある「000-default」のシンボリックリンクとして、「/etc/apache2/sites-available」に表示される「default」に反映される。

つまり、「000-default」に1.3のときに設定したサイト固有の設定を書き込めばいい。

apache2の再起動は、restartでもいいが誰かがサイトを参照している可能性のある場合には、

```
#apache2ctl graceful
```

である。

このあと「#aptitude purge apache」として1.3を削除してもいいが、まだデスクトップマシンではやっていない。灰皿町のサーバは初めから2.2をインストールしたマシンなので1.3はない。

22:39:49 - belle - No comments

2006-02-17

Tomcat

Java Software Development Kit(Java SDK)をインストールできれば、Java用のサーバTomcatがインストールできる。

Debian GNU/LinuxではPackageがあるようで、インストールは簡単だが、当然、Apacheと連携させるようにモジュールもインストールさせようとするだろう。ここで問題は、スタンドアロンのTomcatだけでなく、Apacheの設定ファイルも触ることになることだ。

JavaはMacromedia Flashのページのようなことができそうだが、自分ではまだそこまで試みられない。『JavaServer Pages』のサンプルプログラムをダウンロードしてひとつひとつ学習できるけれど、ほかのユーザにもその環境を作るにはホームディレクトリでもJSPを使えるようにしなければならない。それもApacheをTomcatと連携させたいので。

ここまでできそうだが、ユーザ（ぼくも含めて）が利用して便利に感じるようにまでするだろうか？ という疑問もある。長い目で見れば、JSPを自由に使えるようにする価値は大きいけど急いでやらなくても、そのうちにやるか、という感じ。

灰皿町はPHPを使える。またMySQLとの連携もできる。このことで相当、スクリプトを速くすることもできるし、多様なことができる。これをまず深めてからでも遅くないように思い始めた。

JavaがもしDebian GNU/LinuxのPackageに入れれば、updateが楽なのでサーバに絡ませても安心だが、Javaはまだオープンソースではないので、半年に1度ぐらいは見直す必要も出てくるだろう。それもある。

しかし、やはり好奇心は湧くので迷う。

23:53:44 - belle - No comments

2009-10-02

自宅サーバのトラブルの経過 その3、電源ユニットからの部品どり その1
自宅サーバのトラブルの経過 その3

apacheのエラーログの参照

サーバの移行がおおむねうまくいったとしても、いろいろと問題が起こることが多い。

そのためにはデスクトップパソコンもLAN内でweb serverにして、サーバ側からアクセスしてみることがかんじんである。今度の場合はPerlのモジュールの問題がひとつあったが、これはこのやり方をしていたので以前からわかっていたのですぐ対応できた。

apacheのerror.logは次のようにしてリアルタイムで参照できる。「Internal server error」が出たときに見ると問題が表示されている。

```
#tail -f /var/log/apache2/error.log
```

最初にやることは「/etc/hosts」の変更

サーバを移行したら変更するLAN内IPの名前を変えておく。LAN内IP固定についてはblosxom blogやこのblogに書いたと思う（ルータの設定が終わっていることが前提）。

```
192.168.1.7 www.haizara.net
192.168.1.8 chaos.cxm
192.168.1.2 belle.cxm
```

などと変える。

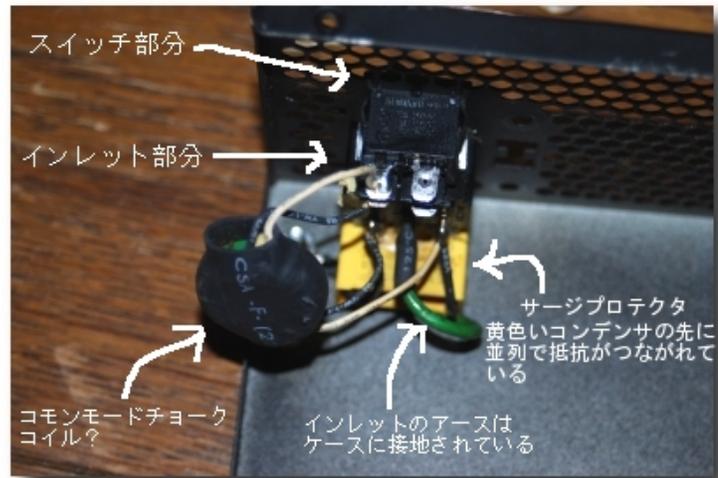
†

電源ユニットからの部品どり その1

ケースとインレット、スイッチは使えそう

100V対応のインレットなので、ACアダプタではなくてトランスを使ったオーディオ機器作製に利用できそうだ。まずテストで調べるが大丈夫だろう。

サージプロテクタは直接AC100の入口に並列に付いていた。このあたりぼくのような初心者が適当にやるとまずいが、これははずしてバリスタをつけておこう。コモンモードチョークコイル(?)ははずして普通のコモンモードチョークをつける予定。ケースは立派なものだ。スペーサーまでついている。



21:40:00 - belle - No comments

2020-05-11

オープンソースの会議システム

Linuxにインストールできるオープンソースの会議システムを検索していたら、[Apache OpenMeetings](#)があった。

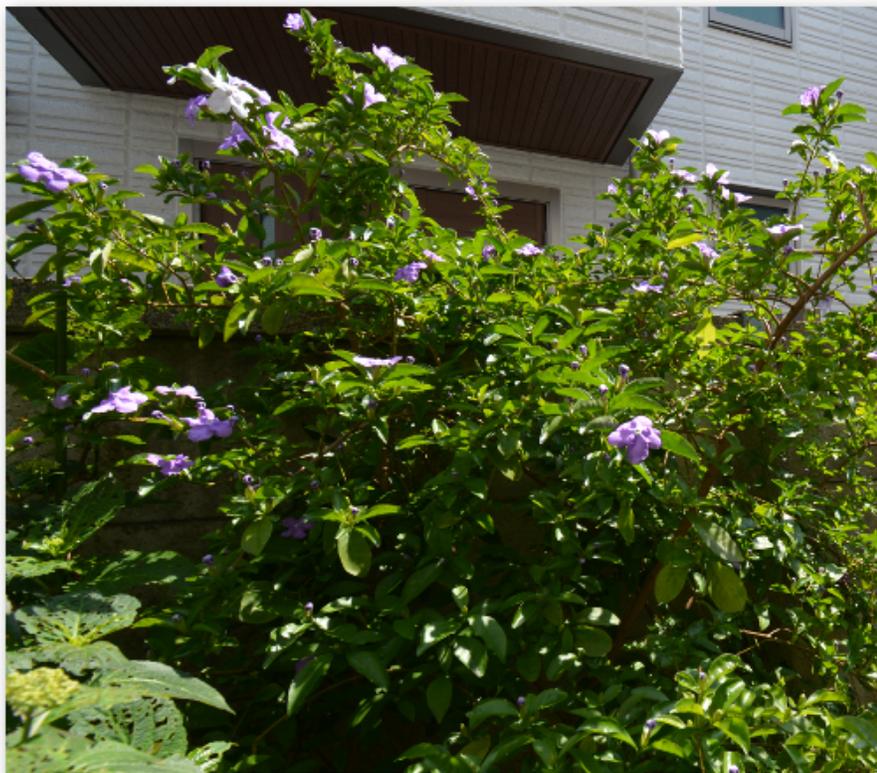
これは灰皿町にインストールできそうだが、メンテナンスが大変そう。

でも、進化しているようなので、もし日本語化が進んだら日本で使われるようになるように感じる。

今日は、[[ニオンバンまつり]]が満開になってきた。すごくいい匂い。

スマホと一眼レフで撮ってみた。





20:23:18 - belle - No comments

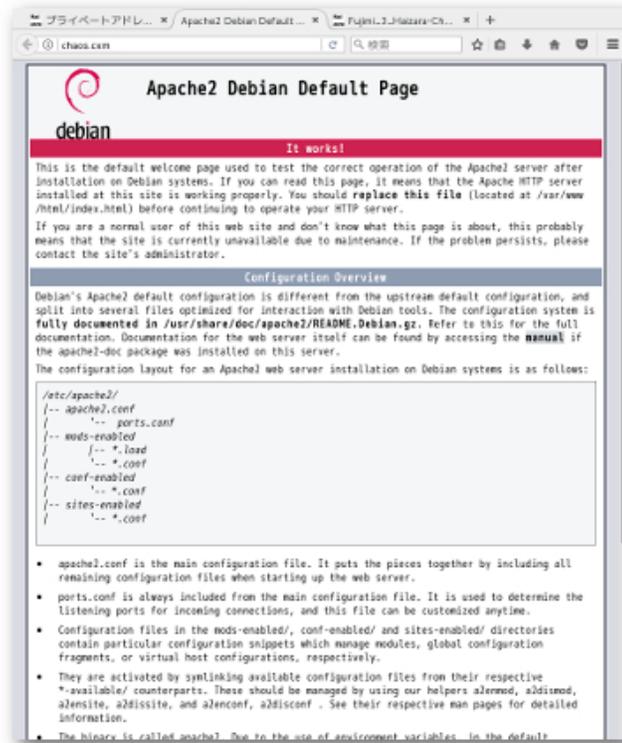
2018-02-11

久しぶりに**apache2.4**をインストール

まだwebサーバを入れてなかったパソコンにapache2.4をインストールした。

apacheはずっと使っているが、2.4までの設定の留意点は、[このblogでapacheを検索](#)するとだいたいでてる。

下は「It works」ページ。



23:24:31 - belle - No comments

2016-02-11

梅の花

新しいサーバではMySQLの代わりにMariaDBをインストールしてみた。
とはいっても、まったく同じ感じ。mysql-uroot -p*****でログインできる。
手順は下のサイトを参考にした。

[Debian 8 Jessie LAMP server tutorial with Apache 2, PHP 5 and MariaDB \(instead of MySQL\)](#)

ところが、まだWeb上に表示できない。なぜかな。PHP5とMariaDBには問題がないように見える。連携がうまくいかない。なんとなく、しばらくこれにハマる予感。

†

梅の花が盛りである。梅の花の期間は短い。スマホで撮ったもの。



23:12:28 - belle - No comments

2007-01-10

図書館にCDを返しに行く

灰皿町のwebサーバ・Apacheにモジュールを追加しようかな、と思って関係書を地下鉄で読む。

単純に追加できるのも多いが、稼働しているサーバでhttpd.confという設定ファイルを書き換えたりテストする必要があるモジュールなので、慎重さが要りそう。ImageIndexも灰皿町用にカスタマイズしようと思うが、けっこう複雑になっているようだ。Perlのプログラムらしいが、iGallは使えるめどが立った。

+

午前に図書館で借りたCDを返しに行く。ストラビンスキーとテレマン、バッハ。この辺では珍しい畑のようなところを通るのだが、土があらわで寒々としている。帰りに三軒茶屋の本屋さんに寄ると、前に試したPov-Rayという3D画像をつくるソフトの説明本があったので興味を持つが、奥付を見ると2001年刊。でもこの類のソフトも動かしてみたいという興味がある。

ビデオを撮ろうと思ったら、充電切れ。ビデオを回すのはかなり電気を食うようだ。どうも、このカメラはwebcamにそのまま使えそうな感じ。その場合はACアダプタをつけて三脚かな。

23:57:28 - belle - No comments

2016-03-16

たぶんワカケホンセイインコ

コンビニに買い物に歩いていたら、あまり聞かない鳥の声がした。

これは以前部屋の前の電線にとまったのを撮影するのに成功した[[ワカケホンセイインコ]]ではないかと思う。

これらしき鳥がたくさんいる近所の公園があった。以前はたくさん数もいた。現在はわからないが。

寒い季節に元気に2羽鳴いていたので、冬越しするだろう。

これはスマホのカメラで撮ったもの。望遠レンズのついたカメラを持っていればおもしろかったと思う。



apache2.2からapache2.4 設定ファイル変更のまとめ その3

[Access Control - Apache HTTP Server Version 2.4](#)に、「Allow,Deny」の書式の変更について書かれている。[[mod_access_compat]]によって、このApache2.2までの書式は使えるが、いずれ使えなくなると書いてある。

とりあえず「/etc/apache2/sites-available」の「000-default.conf」の該当部分を直しておくのが得策だと思う。

```
# Order allow,deny
# allow from all
Require all granted
```

上の2行が不要になるので行頭に#をつけておいてもいいかもしれない。Denyの場合は、

```
# Order deny,allow
# Deny from all
Require all denied
```

となる。書式のテストは、「#apachectl configtest」で「Syntax OK」と表示されればいい。

22:15:00 - belle - No comments

2008-06-28

数年のwebサーバの感じ

昨年、今ごろの記述を見ると、これを書いているマシンがサーバになっていてDebianのバージョンもsargeだった。そのころデスクトップで使っていたマシンは今サーバになっていて、1台sargeの次の次のバージョンであるlennyがインストールされている。

サーバもデスクトップマシンもstableであるetchにアップグレードした。Linuxはトラブルが少ない。そのころの漠然とした計算からいえば、新しいマシンをwebサーバと同じバージョンにしてクローンにしておくことだったが、現在のこの部屋の2台のマシンはまだずっと使わないともったいない感じ。

ただし、新マシンのlennyはハードディスクをとびとびに1年近く動かし、Apacheも1.3系から2.0系にしてテストしているので、いつかはこのマシンにサーバも移行していくと思う。

計算違いということからいえば、サーバとしてマシンの時間のとり方は3年ぐらいでもよさそうだということだ。すると毎年1台のマシンを作るというのは、飼う猫がやたらに増えるというのに似ている。パソコンの速度の進化は実用的な視点からみれば、数年前から少し鈍りつつあるのかもしれない。

lennyをインストールしてあるのは64ビット版だ。ここは大きな変化だと思ったら、そんなこともない。メモリもHDD容量も格段に上がって、灰皿町で使うようになれば多少は速く感じるかもしれないが、回線の速度はあまり変わらないので、見る人はそれほど気づかないかもしれない。

灰皿町のサーバもゆっくりしたペースで、デスクトップとして遊びつつ進化していけばいいように思う。

23:04:04 - belle - No comments

2006-06-16

梅雨本番

いよいよ梅雨本番で、雨が降り、蒸し暑い。

Railsというのは、webサイトを構築するときの便利なフレームワークのようだ。ただ、Apacheに組み込むときには、ちょっとした手続きがいる。できるだけ、httpd.confを触りたくないなので、よく調べてから、ひとつテストのプロジェクトを立ち上げてみたい。

フレームワークとしてのRailsはテストモードというのももっていて、いろいろそれでテストしてそのまま本番モードに移行できるようだ。ただApacheにはmod_rubyを組み込み、できればfastcgiを使うべきとのこと。

21:12:42 - belle - No comments

2004-11-30

美人ぞろい

灰皿町に志郎康さんと哲男さんの家ができます(^)。

Debian GNU/Linuxにphp4とmysqlまわりのソフトウェアをインストールする。インストールメモはないけど、あまりに簡単にインストールとapache (web server) の設定ができてしまったので、気が抜ける感じ。

ほんの少しVineとは違っているけど、apacheまわりの設定はかえってDebian sargeのが楽だった。

10:46:12 - belle - No comments

2008-10-15

灰皿町サーバの状態

今のところいちばん速いマシンに、webコンテンツを定時にすべてバックアップしようと思っていたら夜遅くなってしまった。
前にも書いたように、rsyncとcronジョブを組み合わせるとマシンが勝手にバックアップしてくれるのがいい。というか、手動でやっていたら面倒くさくてしょうがない。

ただ、[[rsa]]2の暗号を使うHostbasedAuthenticationを設定すれば、ほかのマシンの中にコマンド一つで移れるのは副次的だが、とても便利だ。3つのマシンを自由に行き来できるようにしようとしているわけである。いまのところ2台だが。バックアップの面からいえば、3つのHDDに同じものを常に置いて、なにかあったら即座に切り替えられるので、より安心だということがある。

速度の面では新しいマシンのほうが当然速く、サーバとしても速いほうがいいのだろうが、いまのデスクトップも強靱なので何か問題が発生したりするまで、このままにしておく。

3つ目のサーバがほかと違うのは、webサーバがapacheの2系に変わることである。あまり違いはないと思うが、2の状態でいろいろとテストする必要がある。さらに3つ目のサーバはHDDの容量が500Gなので、写真や音声、動画などの非圧縮ファイルをおいておくのに向いている。

今のサーバも強靱であるが、もし切り替えたときには、ファンやCPUクーラーなどの取り換えを行う予定である。

こう書いていくと、ソフトの部分を発展させる時期なのかな、と思う。

といいつつ、マシン周辺にいろいろと新しい興味が湧いてしまう。

23:55:00 - belle - No comments

2006-01-25

旧サーバのApacheログファイルをCDに焼く

VineLinuxでちょっと試してみたいことがあって、それが終わったら、PentiumMマシンでいろいろやろうと思っているのだが、その前にApacheのログファイルをCD-Rに焼いた。210Mバイトぐらいのテキストファイル。アクセスされた方の環境変数がすべて入っている。

Apacheハンドブックは、すべてのプラットフォームに対応するように、コンパイル、インストールから書きはじめられている。この部分は、Linuxでは1コマンドでできてしまうので、おもに読むべきは設定や機能の部分だろう。

著者がFreeBSDの上でやっているのだから、なんとなくFreeBSDの環境に興味湧く。いつかインストールしてみた。基本的にPCUNIXはみんなほぼ同じであるが、なんとなくその「文化」に触れてみたくなるのだ。

23:37:36 - belle - 2 comments

2006-04-26

Podcasting!

音楽はそれほど聴かないし、CDが紛失してしまうのでおっくうになっていた。

でも「Linux Journal」のPodcastingの記事を読んでいて、『Podcast Hacks』（日本語）だっけ？ そんな本の解説をwebで見るとにわかには音声配信に興味が出てきた。Linux JournalはLinuxのアプリケーションとして、Podcastingを使うコマンドラインソフトについて書かれていた。まだ全部読んでいないが。

音声フォーマットのファイルをストリーミング配信するには、Apacheのモジュールの設定が必要だろう。あるいは、ほかのportを開けてicecastだっけ、音楽配信用のサーバをインストールするかだ。ところでまだPodcastingというのがよくわかってない(^)。icecastとどう違うのだろうか。今日、本を買おうと思っていたら仕事の終わりが本屋さんの終わりの後で買えなかった。

22:11:46 - belle - 2 comments

2005-11-02

いい天気！

秋も終わりごろのちょっと引き締まった感じの、この気候はいいですね。山の藪にはズミなどの実が赤く点々とあるだろう。

このNucleusのblogもTrackback Pluginなどもgradeupしたが、この機会にいろいろと設定しなおした（trackbackのping発射は、まだうまくいっていません。ほかからのpingはtrackbackのフォームから可能です）。NucleusはPHPというプログラミング言語を使って、データベース（MySQL）にアクセスしている。PHPはApacheと密接に結びついているので、その設定ファイルはDebian GNU/Linuxでは/etc/php4/apache/にある。サーバは別のディストリビューションなので、/etc/にある。この設定ファイルのマルチバイトストリングの設定がまだよく知らないの、完全には設定による挙動がわからない。どうもUTF-8環境というのは、標準化という意味ではこれから進んでいくのだろう。

10:00:43 - belle - No comments

2007-05-15

デスクトップマシンをsargeからetchにupgrade

Debian GNU/Linuxをetchからsargeにupgradeした。

結局半日を費やしてしまった。

ハマったのはXorgの設定部分。でも下のようにKonquerorでアルバムviewができたのがうれしい。

KDEは3.5.5。The Gimpなどもupgradeされて、PHP4やMySQLも問題なくsargeを継承した。



†

sargeからetchへupgradeするときには、[リリースノート](#)を熟読すべきだ。ただ、それだけでは日本語の問題があるので十分とはいえない。

下はぼくがやったことだが、これはあまり参考にならないかもしれない。

ただ最終的に成功したので、書いておく。2段階のupgradeをする。

まず最初の疑問は、rootになってgdmを止めたとき、まだxsessionにいるのかどうか理解できない。でもコンソールにしなければいけないので、gdmを止めた。

「/etc/apt/sources.list」のsargeをetchにviで替えるところから始まりである。

```
#/etc/init.d/gdm stop
```

すると、Xはいちおう終了するので（セッションのなかにまだいるのだろうか。よくわからない）、基本的なプログラムをupgradeする。

```
#aptitude update
```

このとき警告がたくさん出るが、もう一度同じコマンドを実行すると出なくなる。

```
#aptitude upgrade
```

ここでだいぶいろいろダウンロードされる。次に、

```
#aptitude install initrd-tools
```

を実行。さらに完全なデスクトップシステムがインストールされている場合、

```
#aptitude install libfam0 xlibmesa-glu
```

を実行する。ただし、これを行う前に、

```
#dpkg -l libfam0c102 | grep ^ii  
#dpkg -l xlibmesa-glu | grep ^ii
```

を実行して確かめておく。
次にkernelだけをupgradeする。

```
#aptitude install linux-image-2.6-686
```

デスクトップなら、たいていこれだろう。686の部分は486の人もあるはずである。
ここでようやく、

```
#aptitude dist-upgrade
```

を行い、

```
#aptitude update
```

を実行しておく。次に、nvidiaデバイスドライバをインストールしようとしたが（nvidiaのdriを使わない人は不必要）、jfbtermの実行コマンドjcだと文字化けする。基盤がutf-8になったからだろうか。

```
#LANG=C
```

を実行しておく。ここで、

```
#m-a a-i nvidia-kernel-source
```

を実行したが、結局あとでまたこれをやることになった。このへんからぐちゃぐちゃなので参考にしないでいただきたい。

```
#shutdown -r now
```

を実行してrebootしたが、Xが立ち上がらない。たぶん、LANG=Cにせずにupgradeを実行したときに、デスクトップがインストールされていないエラーに気づかなかったのだと思う。

この時点で、Apacheは稼働している。Apacheは再起動の時間以外は動いていた。ただ、Mysqldが動いていなかった。SSHは動いていて、基本的なインストールは成功したと思った。

ここでXorgをもう一度インストールしようとしたが、tcsh-kanjiかな？がなにかエ

ラーを出して止まってしまう。また、リリースノートによると、/usr/X11R6/binは削除され/usr/binへのシンボリックリンクが残っているだけと書いてあって、対処の仕方が書いてあった。

ぼくはここで、

```
/usr/X11R6/bin#rm *
```

ということを強行した。これはたぶん推奨されない。これを読んだ方は、確実にXセッションからはupgradeしない方法を見つけてください。

それで、

```
#dpkg --purge tcsh-kanji
```

だったかな。エラーを吐くソフトを無理やり削除した。

それからXorgがインストールできて、再設定。/etc/X11/にxorg.confがあるので、これをviで編集する（というか#xorg -configureでできた、xorg.conf.newをxorg.confとして/etc/X11/にコピーして編集する。水平、垂直周波数は継承された記述になっていた）。

この時点でXは立ち上がろうとしたが、じつはデスクトップ環境はupgradeインストールされていなかった！

それで、

```
#apt-get install kde kde-i18n-ja
```

```
#apt-get install gnome
```

```
#apt-get install gdm
```

とすると、upgradeインストールに成功！

23:53:35 - belle - No comments

2015-11-28

新パソコン2カ月

新パソコンを作って動かしてから約2カ月経った。

正確には10月4日と記したのテプラが貼ってある。

[[SSD]]を使ったパソコンはやはり温度もあまり上がらないようだ。

力量からいって3Dゲームなどをガシガシやってもいいのだが、今度長いビデオを編集してみよう。

webサーバにすれば、ほかは更新したのでパソコンの速度が外部からの表示速度に表れるはずだが、思い切って古いパソコンから切り替えてしまうべきかもしれない。MySQLをMariaDBに移行するテストをしたり、Apacheの新バージョンの設定ファイルの見直しとかある程度やって、サーバ切り替えしてもいいのだがまだまだ壊れそうにない。でもいずれにしろ、次のサーバはSSDでcore i7のものになると思う。



23:56:00 - belle - No comments

2007-02-04

PHPでWebページを作ろうとしていたら

PHPでWebページを書こうとしていたら、つい寝てしまった。

なんとなく、BBSのログを徹底的に検索しやすくしたりしようと思っていて果たせないでいるので、一度書いたものを書き直そうとしている。

DBはこないだLinux JournalでバークレーDBのことが出ていたので、MySQLのPHP DBIを使わないでバークレーDBでも実験しようかな、と思っている。バークレーDBはLinuxをインストールすれば普通にインストールされているので、扱いやすいらしい。

+

ちょっとおめでたいことが続きそう。今日はみんなで焼肉を食べた（べつにそれが理由でもないが^^）。

どうもcore 2 duoというのはPentium Mの延長にある感じ。Pentium Dはやはり過渡的な感じのCPUだったようで、これは自作パソコンではスキップしたが、消費電力と効率的なCPU、core 2 duoはやはりIntelのCPU開発の流れのなかでも大きなものなのだろう。次世代サーバは、これを使うことになるだろうが、現在デスクトップで使っているPentium Mも速さの点でも発熱の点でも消費電力の点でも十分だし、このマシンは長くもつだろう。

とすると、もしcore 2 duoのマシンを作ったらDebian GNU/Linux etchをインストールしてApacheを2.2系列にしてから、いままでのデータを全部継承する状態にするということだろうか。

ほんとはDebian GNU/LinuxでApacheを1.3系列から2.0あるいは2.2にする積極的な理由はまったくない。ただ、MySQLもPHPもバージョンが上がっていくので、実験するにはいっそApacheも上流を試すか、というぐらいである。Debian

GNU/Linuxは現役で安定しているソフトを見捨てることは決してない。

†

灰皿町ラジオの一般版(?)は来週にも開局しようと思う。Skypeをやる方はいまだに灰皿町では少ないが、ほんとうはSkypeはFMラジオ並みのクオリティがある音質のテレビ電話なのだ。いつかはこれでも録音してみたい。とくに遠方の方の場合には便利そうだ。

23:59:00 - belle - No comments

2009-10-08

台風通過中の空、やっぱり電源ユニットのケースは捨てることにした、自宅サーバのトラブルの経過 その9

今日はどうなることやらと思っていたが、台風は速めに通過した。午前中は写真のような空だったが、午後は台風一過、日の当たる道を帽子をかぶって歩いた。



ペるけさんのAC100V版のヘッドホンの部品を買ってきたが、やはり最近よくがよく使っているタカチのMBというケースを使うことにした。というのも、電源ユニットにはインレットやスイッチが付いているのはいいのだが、穴がいろいろ開いてアルミのつぎはぎになりそうだからである。かえて手間を食いそう。MBのケースは2000円ぐらいなので、つぎはぎアルミを買ってくるとそれほどのコスト削減はない感じ。

よく稼働してくれたので、いつものようにお清めで塩を振って燃えないゴミの日に捨てることにしよう。

18-0-18、0.2Aという小型のトランスを買ったが630円だった！

そのうち製作してみよう。

†

自宅サーバのトラブルの経過 その9

この覚え書きもなんとなく、いろいろと備忘録になってきた。この際、あとでプリントして眺めるように細かいことも書くことにしている。

mysqldump

blogを作っていると、Mysqlのデータベースを作らなければならないことが多い。MysqlとPHP、Apacheが連動して動くわけである。Perlのblogの場合、いくつかの便利なモジュールをインストールする。

この「トラブルの経過」も、「サーバ」と「クライアント」（デスクトップ）両方の設定を少しずつやるので、2つのパソコンを扱う。

【サーバ】まず[[mysqldump]]でデータを保存しなければならない。
その前にdatabaseの作り方が、mysqlのコマンドラインに入って、

```
create database BLOG;
```

などとやって作る。

mysqldumpのコマンドは下のようだが、BLOGのところに使っているdatabaseの名を書いてバックアップファイルの名前も替えて、databaseの数だけの行を書く。全部のdatabaseを一挙にmysqldumpできるが、ぼくは一つ一つ展開して検証するにはそれぞれをmysqldumpしたほうが検査しやすいように思う。

```
mysqldump -uroot -pここにmysqlのrootのパスワード BLOG
```

そして、それを一つのシェルスクリプトのファイルとして、crontabに登録する。前にも書いたが「crontab -e」だが（その1参照）、viで編集する。

そうすると1日に1回とか数回、このコマンド群を自動的に実行させることになる。

21:16:19 - belle - No comments

2016-08-07

キジバトが歩いている

キジバトの声は幼いころから聴いているので、なにかのんびりするような落ち着いた感じがする。

実際、伝書鳩と違って少しのんびりしたふうに見えることもある。

昨日の道端のキジバトもあまり、ぼくを恐れるふうではなかった。餌を探しているのだろうか。

このあたりの樹木の上のほうに巣を作っていると思う。



[[Ubuntu 16.04.1 LTS]]へのupgradeは全く問題なく終わった。SSHを使っている場合の設定ファイルについて聞かれたが、手動でカスタマイズした古いものを残した。

サーバで使っている場合には、PHP7になったり、Apacheの設定が変わったりと、問題が普通に出てくるのかもしれない。

サードパーティのレポジトリはとりあえず無視してupgradeする旨の表示が出たので、[[ffmpeg]]などのマルチメディア関係のレポジトリを「/etc/apt/sources.list」に残している場合にも、問題はでないように思う。

22:11:18 - belle - No comments

2006-11-08

FreeBSDの再インストール

FreeBSDを午前中、2時間ぐらいかけて再インストールした。

[[nVidia]]のGeForce 7600GTというグラフィックボードのデバイスドライバを適切にインストールするには、まだ、nVidiaのサイトから圧縮ファイルをダウンロードして解凍し「make install」し、さらに、「/etc/X11/」に作った「xorg.conf」を書き換えたりしなければならなかった。これは夜帰ってきてからやった。

やったことについてはb2evolution blogのFreeBSDの項目に書くつもりである。

というのも、GeForce 7600GTのチップを使ったグラフィックボードを今買う人が多いかもしれないし、これをFreeBSDで使うためにいろいろな手続きを踏んでもせつかく買ったのだから、その力を最大にもっていかないと損なうと思うから。

このFreeBSDをインストールしたマシンなら、いろいろ特殊な遊びをしてもサーバ

にはしないのでゆったりできる。たとえば先だっの「flvファイル」を作るためにffmpegをオプション付きでビルドできればサウンドも有効になると思う。

†

「Linux Journal」のDECEMBER ISSUEでは、「Editor's Choice 2006」という特集をやっている。

Linux Distributionでは[[Ubuntu]]6.06が選ばれている。このディストリビューションは出自がおもしろい。「End-User or Non-Technical Book」の項目でも「Beginning Ubuntu Linux」が選ばれている。これはすでに翻訳があるかもしれない。

「Office Suite」では[[OpenOffice.org]]2.0.3。Microsoft Exellはよく仕事などで使われるだろうが（ぼくは必要ないが）、エクセルのファイルも読みこめる。プレゼンテーションから、ワープロ、ドローソフトなどいろいろ組み合わせられている。細かくは「Spreadsheet」の部門で「OpenOffice.org 2.0.3 Calc」、「Presentation Software」で「OpenOffice.org 2.0.3 Impress」が選ばれている。

「Desktop Environment」では[[KDE]]3.5.4である。これは今もこのデスクトップで使っている。FreeBSDのデスクトップもKDEである。

「Word Processor」部門では[[AbiWord]]2.4.4。通常Linuxでワープロは使わないのでよくわからないが、日本語でこのワープロを使ったことがある。

「Web Browser」では[[Firefox]]1.5.0.6。ぼくはメーラーと組み合わせさせた[[Mozilla]]を使っているが、同じようなもの。「Mail Client」もMozillaから分かれた[[Thunderbird]]1.5.0.5。

「Database」は[[PostgreSQL]]8.1.4。灰皿町ではMySQLを使っているが、PostgreSQLを使うこともできる。

「Language」は[[Ruby]]1.8.5。ぼくも学ぼうとしている。

「Security Tool」はNovell AppArmor。これについてはよくわからない。

「Game/Entertainment Software」部門では[[Quake]]4。これは英語なのでよくわからないが、LinuxにもFreeBSDにも簡単にインストールできるようである。

「Web Server」部門は[[Apache]]2.2。これは当然のような感じ。灰皿町でApache2系を使わないのはPHPとMySQLのバージョンによる。

あと8つあるが、また明日(^)。

23:23:42 - belle - No comments

2004-12-14

その前にCD焼き

このマシンではCDを焼いたことがなかった。

でもせっかくDVDを焼けるのだから、と思ってDVDを焼く設定をしようとしたら、前に単純に、データCD-ROMの認識をするために、

```
/etc/fstab
```

の1行に、

```
/dev/hdc /media/cdrom0 iso9660 ro,user,noauto 0 0
```

というのを追加していたのを思いだした。この行を追加することによって、hdcと認識されるDVDドライブをマウントすることができる。

で、やりなおし(^)。というのもbootの際、スカジーエミュレーションモードで認識しないとCDが焼けないので。

自分の備忘録として書いておく。

1.

`dmesg | grep '^hd:.'`
を実行して、DVDドライブがどういふふうか認識するか調べる。
hdcと認識されている。

2.
`/etc/modules.conf`
`/etc/modules`
とモジュール設定がふたつあるが、debianのkernel2.6の場合、
`/etc/modules`
に以下を追記。

```
ide-cd ignore=hdc
ide-scsi
```

3.
ブートローダーであるgrubを再設定。
前は、
`/etc/grub.conf`
だったが、kernel2.6のdebianの場合、
`/boot/grub/menu.lst`
のデフォルトカーネルの行の最後に下を追記。

```
hdc=ide-scsi
```

こんなふうになる。

```
kernel /vmlinuz-2.6.8-1-386 root=/dev/hda1 hdc=ide-scsi
```

4.
reboot (再起動する)
`cdrecord -scanbus`
とすると、
cd焼きのための機器が認識される。
あるいは、
`lsmod`
で
`ide-scsi`
の行があるか確認。

5.
`x-cd-roast`
を起動して、機器の検出を改めて行って設定を保存。ここでさっそくCDを焼いてみる(^)。

6.
普通のデータCDをマウントするために、
`/etc/fstab`
の
`/dev/hdc /media/cdrom0 iso9660 ro,user,noauto 0 0`
の行のhdcを
scd0に直す。

(備考：
apacheを起動しているのなら、下のURLでドキュメントを読むことができる。
<http://localhost/doc/>
また、DVDを焼くためにはさらに何が必要かがドキュメントに書いてある。
これはまたそのうち^^やってみよう。)

SATAのHDDを使っている場合

シリアルATAのHDDを使っている場合（ぼくの場合、使おうとして使っていませんが。でも1.5倍ぐらいの速さが出るというので将来的には使ってみたい）バグがあるらしく、備忘のためにコピーしておきます。

【以下引用】

Bug with ata_piix module prevent loading ide driver. You have to rebuild initrd image. Just add following to /etc/mkinitrd/modules:

```
ide-generic
ata_piix
sd_mod
```

Backup your old initrd:

```
cp /boot/initrd.img.2.6.8-1-686 /boot/initrd.img.2.6.8-1-686.bak
```

Make new initrd image:

```
mkinitrd -o /boot/initrd.img.2.6.8-1-686
```

Reboot

In case of failure boot from old image - grub way:

```
initrd /boot/initrd.img.2.6.8-1-686.bak
```

Wait for fix in ata_piix

Best regards

Pavel Tavoda

【ここまで引用】

11:39:30 - belle - No comments

2005-01-09

焼き鳥、mp4のストリーミング再生

昨日は、一年に一度ほど飲むグループ、吉田裕さん、築山登美夫さんと3人で新宿「とり龍」で焼き鳥を食べる。その後ユニテに行くと、桐田真輔さん、高田昭子さんとぼったり。ジョルジュ・バタイユなどの話をした。

webサーバのMIMEタイプの設定でVideoのストリーミングができるかどうかが決まる、というのを志郎康さんのmpeg4のアップロードで思いがけずわかることになった。

通常、mime.types (Apache1.3以上? 前のバージョンだとずらっとMIMEタイプをhttpd.confに書くところがあるような覚えがある。Apache2系はどうなっているか未確認) というファイルに格納されているMIMEタイプだが、そこにはないものはhttpd.confに明示的に書く必要があるようだ。このマシン（いま書いているLAN内のサーバではないマシン）では、すでにmime.typesファイルにmpeg4の設定がされていた。でもサーバのほうにはなかったので、httpd.confに追加。「.htaccess」ファイルに次のように書いてもいいらしい。その場合はローカルなディレクトリでストリーミングが可能になる（灰皿町は設定が終わっているので「.htaccess」ファイルは不要）。

```
AddType video/mpeg4 .mp4
```

httpd.confにはほかのAddTypeの書いてあるような場所に、同じ1行を追加する（mime.typesにある場合は書く必要がない）。

17:08:09 - belle - No comments

2005-04-10**PHPとMySQL**

PHPとMySQLの本を地下鉄で再読しつつある（といってもじっくり通読したわけではないが）。

もともと、データというのは、たとえばカンマなどの区切り記号で区切られたテキストなどだ。

SQLで、自在にデータを取り出しやすくなっていて、それをPHPというプログラミング言語でWebに取り出す。

PHPはWeb用に特化されているというか、Webに必要と思われる処理のための関数を初めから多数用意してある。Perlでも、外部モジュールで（オブジェクト指向？）用意されたり作られたりしているようなものだが、PHPのほうが簡単にコードを書ける（ように見える）。

この組み合わせがいいのは、ローカルでMySQLそのものでも仕込んでおけるところだ。データを保存してリストアするとき、全体的に展開すればいい。UNIXのファイルシステムで、オーナーもグループもMySQLで変わることはない。これに比べて、データを吹きっさらしのインターネット上に置くと、PerlのスクリプトとWebサーバは、システムによって特有の「名前」を与えることがある。Linuxのディストリビューションによって、それは「apache」であったり「web-data」であったりする。違うディストリビューションのマシンにバックアップする場合、あとで名前に関して処理が必要だ。この点では、生成されるデータがWebサーバアプリケーションから分離できるデータの場合、データベースにいれておいたほうがいように思われる（のかな^^;;）。

今日は、朝5時からヤンキースの試合があるようだ。これはビデオ録画してみる。また2:00ごろからリンドグレンの「やかまし村の春夏秋冬」がある。これはパソコンで録画してDVDにする予定。寝てますからね(^^)。

01:07:08 - belle - No comments

2005-06-12**祝・祝・祝！！ Debian 3.1 stable リリース**

apt-line (/etc/apt/の中) の、testingをそのままにして、apt-get updateしていたら、security項目のtesting/updatesができない旨の表示が出た。

[[Debian GNU/Linux]]のサイトに行ったら、Sargeが安定版 (3.1) としてリリースされている！

さっそく、testing の行をsargeに入れ換え、apt-get update。

こんどはエラーが出ず、無事、stableのapt-lineになった。

ちなみにぼくのこのapt-lineは以下（ファイルは/etc/apt/にあり、ファイル名はsources.list）。

```
deb http://security.debian.org/ sarge/updates main
```

```
deb ftp://ftp2.jp.debian.org/debian/ sarge main
deb-src ftp://ftp2.jp.debian.org/debian/ sarge main
```

【Solarisのインストール】

インプレスから『[[Solaris 10 完全攻略ガイド]]』というのが本屋さんにあったので、今日はインストールを試みる。

まだうまくいっていない。第一にコレガの古いイーサネットカードが認識されなかった。

ちょっと用があるので、あとは夜やるか。

BSDもインストールしたことがあるし、ゲーム用になっているWin XPのマシンに

HDD交換ケースを入れて、3種のOSのパソコンにしよう。Solarisを入れれば、PCUNIXインストール制覇かもしれない(^)。

インストール成功

インターネットでSolarisをダウンロードすると、3.5GぐらいあるらしいのでこういうDVDが付いている書籍などが必要だと思う。

使い勝手はとて面白い！ 日本語のインターフェースならばインストールそのままのようだ。これは、親切。

夕食後に、ちょっと感想を書きます。

- インストール時の言語の設定のときに、コンソールにマウスカーソルがあるときにアクティブになるらしい。これでまごついた。
 - そのときにマウスカーソルを置いたままインストールをはじめたら、GUIでなくGUI上の「コンソール」からインストールということになった。でもインストールには支障がなかった。
 - インターネットブラウザはMozilla 7. Star Suitesとかいう、OpenofficeOrgみたいな商用のツールがついている。Microsoft ExcelやWordなどとファイルの互換性がある。
 - Apacheは1.3と2が同時にインストールされたいらしい。標準は1.3。
 - 日本語locale設定ははじめにEUCを選んでおけば、すべてのウインドーの表示が最初から日本語になっている。日本語変換システムはATOKが最初から入っている。Linuxだと買わなければならないし（ぼくは買うほどの必要性を感じないので買ってない）、システムをバージョンアップしたときにシームレスなソリューションになっているか心配だが（なぜならたとえばDebianの公式/パッケージにはGPLからいっても無理だから）、この無料のATOKはSolaris10にシームレスなソリューションになっているだろうから、パッチを続けていけばずっと使えるだろう。日本語についてはVineも同じようだが、もっと徹底している感じ。メール、インターネット、ワープロ、画像処理、普通のことは全部そのままできると言っている。
- これが何を意味するかというと、日本人がデスクトップOSとして選択するときに大事な選択肢になりうると思う。
- セキュリティパッチはコンソールから一発らしい。
 - /etc/hostsはあるが、名前解決のときにどうもプライオリティがないらしい。LANから仮想的に名前解決をするときはどうやるのか？

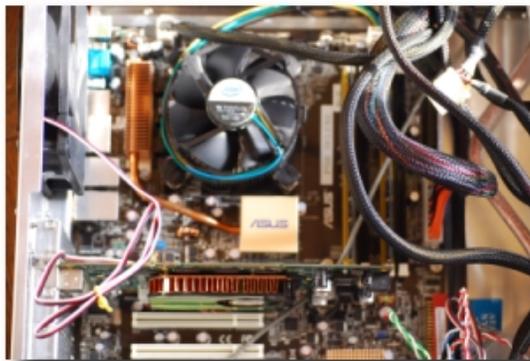
週末に「攻略ガイド」を買って今日インストールした人は、ぼくの勝手な推測だが、東京で250人、全国で1000人はいると思う。

12:18:10 - belle - No comments

2008-05-08

メモリを増設する

ASUS P5B Deluxeというマザーボードに、昨日買ったメモリを装着して後でスイッチを入れてみようと思っていてつい眠ってしまった。



右側のケーブルでよく見えないところだが、メモリモジュールを挿し込むスロットがある。切り欠きがあるので逆挿しはできないようになっている。サウンドカードもPCIスロットの一つに入れてから起動してみる予定。

Debian GNU/Linux lennyをインストールしてcompizも使えるようにしてあるが、WebサーバはApache2.2系にしようかと思っている。

23:59:00 - belle - No comments

2008-09-09

今日の月

温度は少し下がり、湿気なくなってようやく蒸し暑い残暑からめけたのだろうか。十五夜が近い。今夜はいい月が出ている。



いろいろバックアップファイルを眺めているうちに、そろそろ第3のサーバへもバックアップしようと思いはじめた。第3のサーバは64ビット版でApache2系である。この場合のモジュールのこととか、いろいろと調べることがある。ただ、交互にバックアップしている第1と第2のサーバの調子が悪くなったわけではない。念のためという意味合いが大きい。

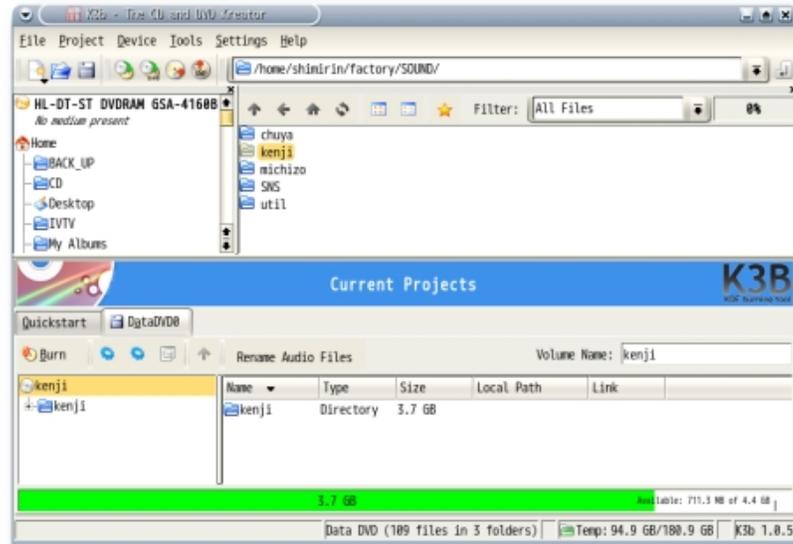
23:36:22 - belle - No comments

2010-03-10

サウンドデータをDVDに焼く

朗読はしばらくやっていないが、今までの宮沢賢治、中原中也、立原道造のサウンドデータをDVDに焼いておいた。

下に見えるように賢治だけで3.7GB、中也・道造で、1.4GBある。全部で5.1GBとして500GBのHDDであればこの20倍の100Gぐらいはなんともないが、なんとなくこれだけの量があるとLANケーブルでコピーするよりDVDに焼いておいたほうが安心のような気がしてきた。



[Linux Serverの構築](#)

にApache2のインストールと設定について書いた。

23:53:29 - belle - No comments

2006-01-19

寒そうな鴨、LANケーブルを固定

ちょっと暇だったのと『Apacheハンドブック』を買いたかったのもあって、二子玉川へ行った。

明日は大寒、さすがに鴨も寒そうだ。



駅前に東急ハンズがあるので、LANケーブル関係のコーナーに行くと、むしろビックカメラより品がそろっていた。哲男さんも（ぼくも哲夫だが）東急ハンズなどDIY店のがいいと思う。床の色に合わせた管などが売っている。



床の貼りつけるのはもともとついてる両面テープでやる。計算しておかないと、ぴたっとくっついてしまうので角は面倒。角用のは別売り。ほかに、壁などに簡易に這わせる留め具も売っていたので、買ってきてしまった。スライドして開くので先に床に貼りつけてからでも、よさそうだった。



20:36:32 - belle - 8 comments

2006-02-07

サーバのファイルをバックアップ、**JAVA**

rsyncのコマンドを含んだシェルスクリプトをcronで実行する設定が進んできた。
webサーバのクローンができてくる。

今度のサーバマシン入れ換えの場合、デスクトップも同じOSで同じKDEである。
モニタを切り替えるとどっちを動かしているのか、と思うことがある。

シェルスクリプトというのは、Windowsでいうバッチファイルのようなものである。
Windowsではサフィックスが「.bat」というファイル。

今はデスクトップが光学式USBマウス、サーバが普通のPSマウス、キーボードも多少
キータッチの感じが違うので、ふと我に返るという感じ。

キーボードはものすごく小さいUSBのものを買ったことがあったが、どういうわけ
かdeleteキーの押し方がわからなくて、BIOSの設定のときにdeleteキーを押すこと
が必要になったときに、別のにしてしまった。キーボードはできるだけ小さなも
の、という好みがある。

本屋さんに行くと、LinuxコーナーにJAVAの本がやたらとあるし、Linuxの特集にも
JAVAが頻繁に出てくる。『Apache ハンドブック』によると、これが書かれた時期
にはそれほどJAVAが安定していなかったようだが、やはり今JAVAが注目されてい
るようだ。

HTMLにJAVAを組み込む場合、ゲームが簡単に入れられる。PHPでMySQLを組み込
むことはだいたいわかったが、動的webページでいろいろとおもしろいだろう。
やはり、ぼくもやってみるべきかもしれない。JAVAアプレットの組み込みは普通の
HTMLでできるのだが、もっと複雑な動的webページを作るにはJAVAサーブレット
というのをサーバにインストールして、あといくつかをインストールしなければな
らない。これは、稼働中のサーバでテストするべきではないだろう。

ほかのマシンでやってみて、多少覚えたらサーバに組み込むということなのだが、
またクローンを作る作業も増えてしまうわけだ。

22:13:53 - belle - No comments

2006-03-12

春が進んでもあいかわらず**PHP**

灰皿町ゲストブックのデータでのPHP+MySQLの練習は、次のような段階までいっ
た。練習でも実地なので(^)、面白い。

1 データベース (MySQL) にゲストブックのログをインポート (掲示板を
PHP+MySQL型に移行することは可能だが、PHPでのスパムコメントチェックのロ
ジックに関する知識が不十分なので、時期尚早)。

2 全部のログを20件ずつ表示してしかもページ数を指定して、そこに飛べるようにした。これは全7000件あるので、350ページ。

3 ゲストブックの書き手を抽出して、その書き手の記事をまとめて20件ずつ表示するようにした。また、書き手を検索できるようにした。

4 記事の中のキーワードから検索できるようにした。

あとは、PHPで2003年3月からのカレンダーを作り、記事のある日付を押すと該当の日の記事が20件ずつ表示される、というのを作ろうと思っているが、これはけっこう難しい。

指定の年月日に飛ぶというのは、これまでのロジックでできそうだが、カレンダーがからんでくると難しくなる。しかし、カレンダーを扱うとPHPがいかに日付の便利な関数が多いかわかる。

『Apache ハンドブック』でもWebアプリケーションを作るとき、PHPで始めるのを推奨している。しかしPerlも並行してやってみたい。

blosxom blogの自作パソコンのページに、自作されている方のトラックバックがあった。多少でも役立つと思うとなんだか嬉しい。

17:12:54 - belle - No comments

2011-11-18

夕方から曇ってくる

UROKOCITYのバックアップを新しいマシンにしておいた。

まだあまり広げていないので、簡単だが、Ubuntuのapache2のdefault設定がDebian squeezeと1カ所違っているところがあって戸惑った。

バックアップしたりするときにもいろいろ気づくことがある。

今日もいい天気だったが、夜から崩れそうな感じ。



23:43:00 - belle - No comments

2016-02-12

MariaDBとMySQL

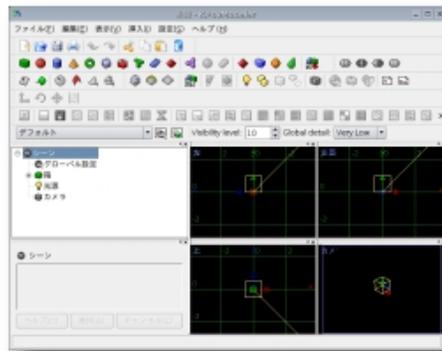
問題は、方向性としてはMariaDBを使うということで移行を始めたのだが、今のところぐちゃぐちゃになってしまった。
もしかしたら、新しいApache2.4の設定の不足があるのかもしれない。
PHPも発展していて、文法的に下位互換性の問題が起こることがあったが、その都度修正してきた。
Debian Jessieのもう1台のマシンではApache2.4で動いているので、設定の問題ではないかな、などわからなくなっている。
とりあえずはまっさらな状態からデータベースはMariaDBを入れたのだが、無理があったかもしれない。
やっぱり、とりあえずは、サーバとまったく同じシステムにしないと駄目かなという感じ。

23:54:00 - belle - No comments

2006-04-30

第2サーバにFreeBSDをインストールする

『FreeBSDビギナーズバイブル』のDVDからFreeBSDをインストールしてみた。
Debian GNU/Linuxからrsyncではバックアップとなるとよくわからないので、サーバ用途ではないが、安定してネットワークに向くというので、完全な遊び用でもない。
灰皿町のサーバとして1年以上使っていたが、HDDもそのとき新品だったので当分使えるだろう。『Apacheハンドブック』の著者はFreeBSDで10年に一度しか再起動したことがないというから如何に安定したOSかわかるだろう。
b2evolution blogのほうにFreeBSDのカテゴリを作って、Linuxとの違いとか書いていこうと思っている。
基本ロケールをUTF-8にして試したいと思っていたが、このDVDに付いている設定ファイルがEUCだったので、しばらくこれで使うことにする。
インストールして、いい感じ！ インストール中の写真は[ここ](#)にあります。
今年はノートパソコンを作って、DebianかFreeBSDを年末にインストールしてみよう。
下はPovray (3Dモデラー) を起動してキャプチャしたもの (いま途中からFreeBSDで書いている)。



23:26:07 - belle - No comments

2006-07-07

Windowsのhostsの設定

一昨日のPodcastingでWindowsからLAN内のwebサーバにアクセスするときの名前解決について、blosxom blogのほうに書くと言ったが、ここに書いてしまうことに

した。

家庭内LANでWindowsXPから、Linuxのwebサーバにアクセスする場合、たとえば、

```
C:\WINDOWS\system32\drivers\etc\hosts
```

に、

```
192.168.0.8 i.love.belle.cxm
```

というような行を入れればOKである。このwebサーバのLAN内IPは固定されている必要がある。

WindowsでもApacheを入れてサーバを立てることができるようだが、外部に公開する場合には、Linuxがいいと思う。LAN内のテストならば、大丈夫だと思うけど。

+

RSSとXMLというのが多少はわかってきた感じ。灰皿町のゲストブックの書き込みからRSSを吐かせることは可能のように思う。

23:33:31 - belle - No comments

2006-11-15

FreeBSDのRelease番号

下に引用したFreeBSDのReleaseの説明と、ほかのサイトの記述によると、5.5は5系列の最後で08年中ごろまでメンテナンスされ、だいたい同時にリリースされた6.1も同じくらいまでという。

さらに、6系に移行することを推奨する旨の記述がある。

しかし、先日6.1へのシステムアップグレードに失敗したので、同じくらいの期間メンテナンスされる5.5で当分いくことにした。

もともとがFreeBSDの「文化」に触れてみたいということと、ffmpegなどをカスタムコンパイルしてみたいというようなことがある。これは、次世代サーバであるDebian GNU/Linuxのデスクトップではあまり冒険したくないので、FreeBSDでしたいということである。それから『Apacheハンドブック』の著者はFreeBSDでサーバを動かしていて、10年で引っ越しのときだけ止めた、という記述があり、強固なシステムだろうという思いもあった。

いろいろやってみようと思う。最初はソフトの扱いだが、だんだんわかってきた感じ。

+

昨日、ちょうどビックカメラに行ったので、ビデオカメラを見てきた。もう8ミリフィルムを使うデジタルビデオカメラがあまり売っていないようだ。ミニDVDをメディアにして写すのと、HDDのカメラがある。聞くとコーデックはmpeg2だという。ぼくのXactilはmpeg4で記録されるが、性能的にfpsが少ないようで、もっと精度のいい動画を写してみたいので、興味があった。しかしHDDが入っていると衝撃に弱そうだなと思う。

23:36:41 - belle - No comments

2007-02-14

Webサーバのチューンナップをしたくなる

生ぬくい風。帰ってカオスと散歩に行こうとしたら、かなり雨が降っていた。8時ごろ雨がやんで、カオスを連れ出す。

Linuxの雑誌や、『Perl DBI』という本などを読んでいると、Webサーバのチューンナップをしたくなってくる。おもに処理スピードの高速化だ。

ただ、稼働中のサーバはやたらにさわりたいわけではない。さわるにしても慎重になって

しまう。

Debian GNU/Linuxでは、Perlモジュールもapt-getでインストールするものがたくさんあるようだ。MCPANでインストールする前に、「apt-cache search ...」を実行して調べてみる必要があるのに今さらながら気づいた。apt-get installで必要なモジュールとインターフェースをインストールすると設定も適切に書き換えられるのだろうか？ たぶんそうなので(^)、まずは日常使っているデスクトップパソコンのほうでApacheをさわってみようと思っている。

†

よく使うコマンド(1)

ls

(ファイル名一覧の取得)

ls -l

(ファイル名とオーナー情報、パーミッションなどの表示)

ls -a

(隠しファイル=ドットで始まるファイルも表示させる)

ls -la

(まとめて上の2つ)

ls -r

(ファイル名を逆順に表示させる)

23:49:31 - belle - No comments

2007-04-28

雷が鳴った日

カメの水槽は水を3分の2ぐらい入れたほうがいい、というので水を足した。昨日の多摩川べりの写真の続きで、山吹と藤。





+

灰皿町サーバをDebian GNU/Linux sargeからetchへ移行させる時期はいつがいいか考えている。

etchからlennyへは比較的簡単なような感じだが、etchに替えるときには多少注意点がある感じ。webサーバapacheを今の1.3系列から2.2系列に替える積極的な理由はまだそれほどない。1.3系列のままでもいいけるので、このままシステムのupgradeはできるが、2.2系列を実験してみたい気持もある。

インターネットではサーバのシステムをsargeからetchへupgradeした記事はいくつか出てきている。デスクトップ環境ではいくつか便利になったところもある。

23:55:00 - belle - No comments

2007-06-07

etchを使い始めてしばらく経った

デスクトップをsargeからetchに上げて、使い勝手はだいぶよくなったように思う。ブラウザのiceweaselはfirefoxの2と同じなのだが、RSSリーダーなど進歩している感じ。

flashのpluginなどもクリックしただけでインストールされるようになった。前は、ファイルをダウンロードしてpluginモジュールをブラウザのpluginディレクトリにコピーする必要があったが、flashの場合はそれがなくなった。

ただ、ほかのブラウザにも慣れておく必要もある。

skypeもインストールしてもいいが、ekigaが初めからインストールされている。デスクトップといっても、テストサーバも兼ねているので、その面ではApache1.3系やPHP4はそのまま継承され、MySQLは5になった。それでもいまMySQLを使っているblogは問題ないようである。blosxom blogはもともとデータベースを使っていない。

compizは、たぶんBerylと統合されるので、使いやすくなってくるだろう。ただ、nVidiaのカードは推測だがopenGL2.0対応のカードなら/etc/X11/xorg.confの設定だけで動くようになるが、openGL2.0対応という価格コムなどを見るとまだ高級カードなのかな。

core 2 duoのマシンを作るときには、compizをそのまま使えるカードにしようと思うが、サーバを兼ねているのでモジュールを手動で手続きを踏んで作るのはちょっと面倒。もし、古いカードでの対応が進めば、使って問題が起きることはないのを使ってみたいもの。

23:57:00 - belle - No comments

2007-07-10

ImageMagickをPerlで使う

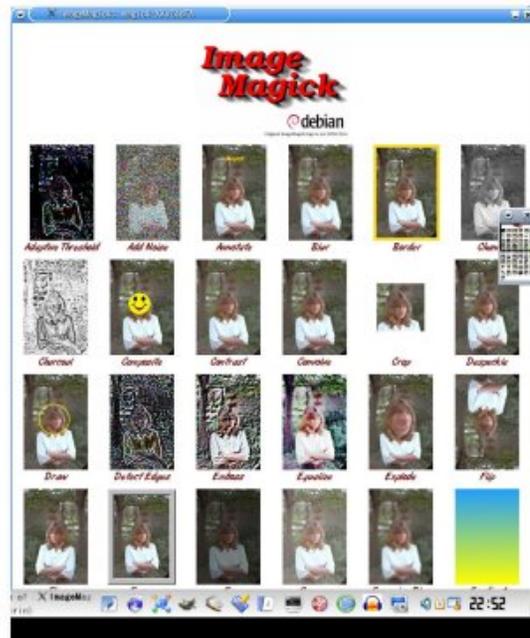
Debian GNU/LinuxでPerlと連携させてImageMagickを使うには、「perlmagick」をインストールする。

インストールは簡単で、
#apt-get install perlmagick
でいい。

これをインストールすれば、CGIで自由に使えるが、使うのには慣れないと駄目な感じ。

通常、ソフトの説明は、「usr/share/doc」に格納される。ここにはApacheをインストールしてあれば、ブラウザからアクセスできる。たとえば、「localhost/doc/perlmagick」にアクセスする。

perlmagickの場合、その下に「examples/demo」というディレクトリがあり、ここにたくさんのスクリプトの例が格納されている。その実行例は、下のようである。



このディレクトリに「Readme」があるので、それを見ると、たんにこのディレクトリで「make」を実行してみよ、とある。このディレクトリには2つの圧縮されたファイルがある。それはファイルの最後に「.gz」と付いているファイルである。この2つのファイルを伸長する。

guzip demo.pl.gz

などとして、たんに「make」とすると出てくる画像が上のものである。このディレクトリには「.pl」とperlスクリプトがあるので、どうやったらいいかを確認するには、「cat demo.pl」などとする。

本に出ていた、画像の横と縦のピクセル数を確認するスクリプトを書いてみた。

```
#!/usr/local/bin/perl
use Image::Magick;
$file=$ARGV[0];
$img = Image::Magick->new();
$img->
($x, $y)=$img->Get('width', 'height');
print $x, ":", $y, "\n";
```

このスクリプトの\$ARGV[0]は引数の最初を表わす。これは横、縦のピクセル数を知りたいファイル名を引数にすればよい。この7行をたとえば「size.pl」という名で保存して、
「./size.pl tachiaoi.jpg」を実行すると「300::225」などと画像のサイズが得られる。

23:15:42 - belle - No comments

2008-05-13

Apache2のインストール

台風2号が去りつつあるが、どんよりとした雲の日。

14. 夜、Debian GNU/Linux lenny x86_64版にApache2をインストールしてみた。といってもとりあえずは簡単で、「apt-get install apache2」で終わりである。

```
debian3:/home/shimirin# apt-get install apache2
パッケージリストを読み込んでいます... 完了
依存関係ツリーを作成しています
状態情報を読み取っています... 完了
以下の特別パッケージがインストールされます:
  apache2-npm-worker apache2-utils apache2.2-common libapr1 libaprutil1 libpq5
提案パッケージ:
  apache2-doc
以下のパッケージが新たにインストールされます:
  apache2 apache2-npm-worker apache2-utils apache2.2-common libapr1
  libaprutil1 libpq5
アップグレード: 0 個、新規インストール: 7 個、削除: 0 個、保留: 0 個。
1775kB のアーカイブを取得する必要があります。
この操作後に追加で 6058kB のディスク容量が消費されます。
```

省略

```
Module alias installed; run /etc/init.d/apache2 force-reload to enable.
Module autoindex installed; run /etc/init.d/apache2 force-reload to enable.
Module dir installed; run /etc/init.d/apache2 force-reload to enable.
Module env installed; run /etc/init.d/apache2 force-reload to enable.
Module mime installed; run /etc/init.d/apache2 force-reload to enable.
Module negotiation installed; run /etc/init.d/apache2 force-reload to enable.
Module setenvif installed; run /etc/init.d/apache2 force-reload to enable.
Module status installed; run /etc/init.d/apache2 force-reload to enable.
Module auth_basic installed; run /etc/init.d/apache2 force-reload to enable.
Module authz_default installed; run /etc/init.d/apache2 force-reload to enable.
Module authz_user installed; run /etc/init.d/apache2 force-reload to enable.
Module authz_groupfile installed; run /etc/init.d/apache2 force-reload to enable.
Module authn_file installed; run /etc/init.d/apache2 force-reload to enable.
Module authz_host installed; run /etc/init.d/apache2 force-reload to enable.
apache2-npm-worker (2.2.8-3) を設定しています ...
Starting web server: apache2.
apache2 (2.2.8-3) を設定しています ...
```

ブラウザで「http://localhost/」にアクセスすると、



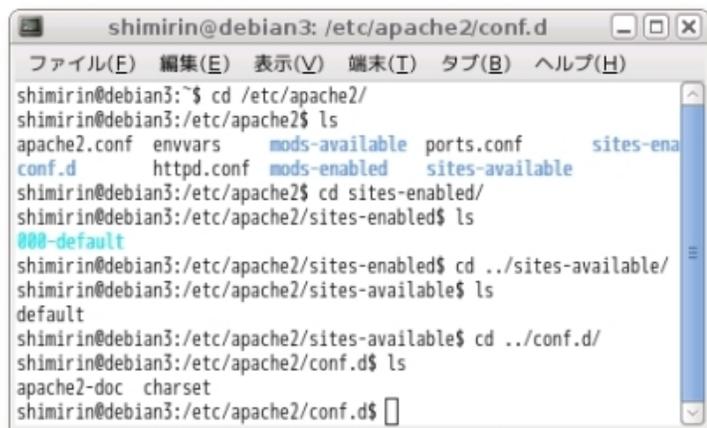
と表示された。

設定ファイルは、1.3系と違って「httpd.conf」ではなくて、分割されている。空の

「httpd.conf」があった。これは以前のバージョンからの継承用(?)。

[Apache2のインストール](#)に書かれているのを参考にしようと思うが、おおむね、Apache1.3系の設定に慣れていれば難しくなさそうだ。リンクのサイトとはちょっと違っている感じがする。

Apache2の設定ファイルが置かれた「/etc/apache2/」のファイル群を表示してみる。



```
shimirin@debian3: /etc/apache2/conf.d
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 端末(T) タブ(B) ヘルプ(H)
shimirin@debian3:~$ cd /etc/apache2/
shimirin@debian3:/etc/apache2$ ls
apache2.conf  envvars      mods-available  ports.conf    sites-enabled
conf.d        httpd.conf   mods-enabled    sites-available
shimirin@debian3:/etc/apache2$ cd sites-enabled/
shimirin@debian3:/etc/apache2/sites-enabled$ ls
000-default
shimirin@debian3:/etc/apache2/sites-enabled$ cd ../sites-available/
shimirin@debian3:/etc/apache2/sites-available$ ls
default
shimirin@debian3:/etc/apache2/sites-available$ cd ../conf.d/
shimirin@debian3:/etc/apache2/conf.d$ ls
apache2-doc  charset
shimirin@debian3:/etc/apache2/conf.d$
```

23:55:00 - belle - No comments

2008-05-14

php5をインストールする

今日も今にも雨が降りそうな日中だったが、傘を使うことがなかった。夜、昨日に引き続きインストール。

15. Debian GNU/Linux lenny x86_64版にphp5をインストールする。

「apt-get install php5」とすると「meta package」である「php5」がインストールされる。

```

debian3:/home/shimirin# apt-get install php5
パッケージリストを読み込んでいます... 完了
依存関係ツリーを作成しています
状態情報を読み取っています... 完了
以下の特別パッケージがインストールされます:
  apache2-mpm-prefork libapache2-mod-php5 php5-common
提案パッケージ:
  php-pear php5-timezonedb
以下のパッケージは「削除」されます:
  apache2-mpm-worker
以下のパッケージが新たにインストールされます:
  apache2-mpm-prefork libapache2-mod-php5 php5 php5-common
アップグレード: 0 個、新規インストール: 4 個、削除: 1 個、保留: 0 個。
3266kB のアーカイブを取得する必要があります。
この操作後に追加で 7197kB のディスク容量が消費されます。
続行しますか [Y/n]?
取得:1 http://cdn.debian.or.jp lenny/main apache2-mpm-prefork 2.2.8-3 [247kB]
取得:2 http://cdn.debian.or.jp lenny/main php5-common 5.2.5-3 [330kB]
取得:3 http://cdn.debian.or.jp lenny/main libapache2-mod-php5 5.2.5-3 [2689kB]
取得:4 http://cdn.debian.or.jp lenny/main php5 5.2.5-3 [1030B]
3266kB を 1s で取得しました (3033kB/s)
dpkg: apache2-mpm-worker: 依存関係に問題があります。しかし要求に従い削除しています:
  apache2 は以下に依存 (depends) します: apache2-mpm-worker (>= 2.2.8-3) | apache2-mpm-
  prefork (>= 2.2.8-3) | apache2-mpm-event (>= 2.2.8-3) ...しかし:
  パッケージ apache2-mpm-worker は削除されようとしています。
  パッケージ apache2-mpm-prefork はまだインストールされていません。
  パッケージ apache2-mpm-event はまだインストールされていません。
(データベースを読み込んでいます ... 現在 102865 個のファイルとディレクトリがインストールされています。)
apache2-mpm-worker を削除しています ...
Stopping web server: apache2.
未選択パッケージ apache2-mpm-prefork を選択しています。
(データベースを読み込んでいます ... 現在 102857 個のファイルとディレクトリがインストールされています。)
(.../apache2-mpm-prefork_2.2.8-3_amd64.deb から) apache2-mpm-prefork を展開しています...
未選択パッケージ php5-common を選択しています。
(.../php5-common_5.2.5-3_amd64.deb から) php5-common を展開しています...
未選択パッケージ libapache2-mod-php5 を選択しています。
(.../libapache2-mod-php5_5.2.5-3_amd64.deb から) libapache2-mod-php5 を展開しています...
未選択パッケージ php5 を選択しています。
(.../archives/php5_5.2.5-3_all.deb から) php5 を展開しています...
apache2-mpm-prefork (2.2.8-3) を設定しています ...
Starting web server: apache2.
php5-common (5.2.5-3) を設定しています ...
libapache2-mod-php5 (5.2.5-3) を設定しています ...

Creating config file /etc/php5/apache2/php.ini with new version
Reloading web server config: apache2.
php5 (5.2.5-3) を設定しています ...
debian3:/home/shimirin#

```

上のapache2はapache2-mpm-workerに依存関係があるのに、apache2-mpm-workerが削除される意味がわからない(^;。)。でも、apache2は正常に動いているようなので、後で調べてみて調整の必要があるなら調整しようと思う。

†

今、調べたら、[DebianやUbuntu環境でApache2 + PHP5 でApache2をマルチスレッドにさとーC++ぶろぐ/ウェブリブログ](#)にその意味が書いてあった。またマルチスレッドに戻す解決法も書いてある。apache2-mpm-workerのほうが、apache2-mpm-preforkより若干速いとのことだが、この後、php5に関連するmysql5をインストールするので、その後考えることにする。

23:55:00 - belle - No comments

2009-05-07

Debian GNU/Linux lennyのリリース

2月14日にetchの次のDebian GNU/Linux lennyがリリースされたようだ。すでに、64ビット版のlennyは新マシンにインストール済みであるが、数年使っているサーバとデスクトップ（ともにetch）のマシンに問題はない。というか、いずれにせよlenny（現在のstable、etchはold-stableとなって来年2月14日までサポート

される)にupgradeしておく必要がある。
このへんですべての部品が新しいマシンにサーバ機能を入れ換える準備をしておいてもよさそうだ。
リリースノートをちょっと読むと、sargeからetchへの移行のときより少し楽なように思える。

[Debian GNU/Linux 5.0 \(lenny\) リリースノート \(Intel x86 用\)](#)

ただウェブサーバはlennyマシンはapache2.2系にしてあるので、調査が必要かもしれない。

上のリリースノートのetchからのupgradeの章を前回のようにプリントして熟読すべきだろう。

その次は、squeezeというコードネームのtestingバージョンだ。

デスクトップも64ビット版にしたいが、パソコンはそんなに壊れるものでもない。しかし今度作る場合はcore2duo以上のCPUにするだろう。さらにアクセスの速いメモリ型ディスクが安くなりつつある。

ファンレスのビデオボードを使い、今よりだいぶ静かなサーバにするのは可能かもしれない。

22:44:27 - belle - No comments

2009-05-11

新マシンにsshの設定をする、Apache2.2の設定も始める

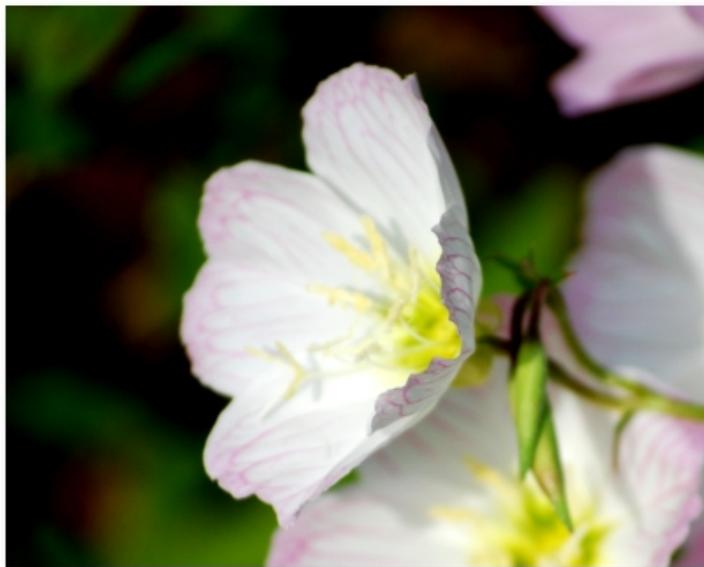
[[rsync]]を使えないといけないので、新マシンの「/etc/ssh/sshd.conf」と「/etc/ssh/ssh.conf」を編集した。

あっという間にサーバのファイルを転送してくれて、シェルスクリプトを書いてcronの設定をすれば自動的にバックアップしてくれる。前にも書いたがrsyncは変更された部分だけ転送するので、1回実行をしまえばバックアップのファイル転送は短い時間でできる。

設定は前にblosxom.blogのほうに書いた。

ほとんどlennyでも同じであるが、ホスト名が暗号化されるのに「yes」をつけてしまい、known_hostsファイルのホスト名の部分が暗号文字になってしまった。LAN内では公開するwebサーバにすると、名前を変える必要が出てくるので「no」にしておくべきかもしれない。

下は昨日撮った道端の花。



†

Apache2.2はApache1.3系列から大幅な設定方法の変更があった。
たとえばユーザディレクトリのpublic_htmlが見えるように有効化するの、

```
#a2enmod usrdir
```

とモジュールをロードしなければならない。
これはかえって初めてApacheを設定する人にはわかりやすいかもしれない。

23:47:14 - belle - No comments

2009-05-12

Apache2.2の設定を続ける

rsyncを実行してサーバのpublic_html以下のファイルを取得して、LAN内のほかのパソコンからアクセスしてみた。初めCGIファイルが表示できないので、どうしたのかなと思って設定を見るとCGIモジュールはロードされている。現在ロードされているモジュールは、「/etc/apache2/mods-enabled」ディレクトリに表示されているもの。ロード可能なモジュールは「/etc/apache2/mods-available」ディレクトリに表示されている。「sites-enabled」の「000-default」のディレクティブをviで多少編集した。CGIが表示されないのは、前にも書いてすぐに忘れるがCGIスクリプトに書かれるperlの場所と実際の場所が違っているからだった。BBSなどのperlの場所を「/usr/local/bin/perl」にしているので、

```
#ln -s /usr/bin/perl /usr/local/bin/perl
```

とシンボリックリンクを作るとCGIが動いた。

blosxom blogに必要な「libwww-perl」は前にインストール済みだった。Jcodeも。「Authen::Captcha」はまだだったが「libauthen-captcha-perl」という正式パッケージがあるのでインストール。

ついでに「libgd-securityimage-perl」もインストールしておいた。

問題は「[[Storable.pm]]」が64ビット版だと問題が出てエラーになることだった。

灰皿町ではblosxom blogのカウンタに使っている。
代替のカウンタpluginを探しているが、どうも見つからない。

+

やはり64ビット版のパソコン/OSは速い。メモリも6Gを入れているので、写真の編集なども速いだろう。

23:07:27 - belle - No comments

2009-09-29

電源ユニットを新品にしたら旧サーバマシンが動いた！ 電源ユニットを分解。部品どり、けっこうできる！

今日、行きがけに電源ユニットを秋葉原で買って、帰ってきて付け替えた。

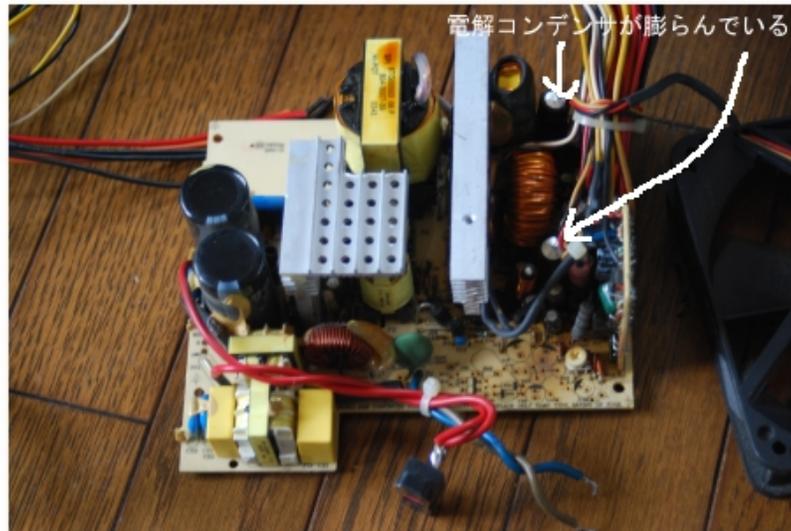
うまく立ち上がった！ 何事もなかったように。

すぐにまだ使えるというような考えが湧く。でも退役かな。かわいそうだけど。ケースはいいものを使っていて、HDDをとめる部分のアルミがスライド式で出てくるタイプ。ただこの旧サーバはサイドに細かい穴があるので埃が入るのが欠点だった。

大きなファンは張り込んで前に買ってあった3000円ぐらいのものに付け替えた。

下の写真は分解したもの。この後、質のいい線材（銅）をニッパーで切って電子工作に使おうと思う。

さらに見るとけっこう鋼鉄製のいいケースだ。これをヘッドホンアンプのケースにできそう。記念にヘッドホンアンプにするのも悪くない。インレットの穴など初めから開いているのだ。





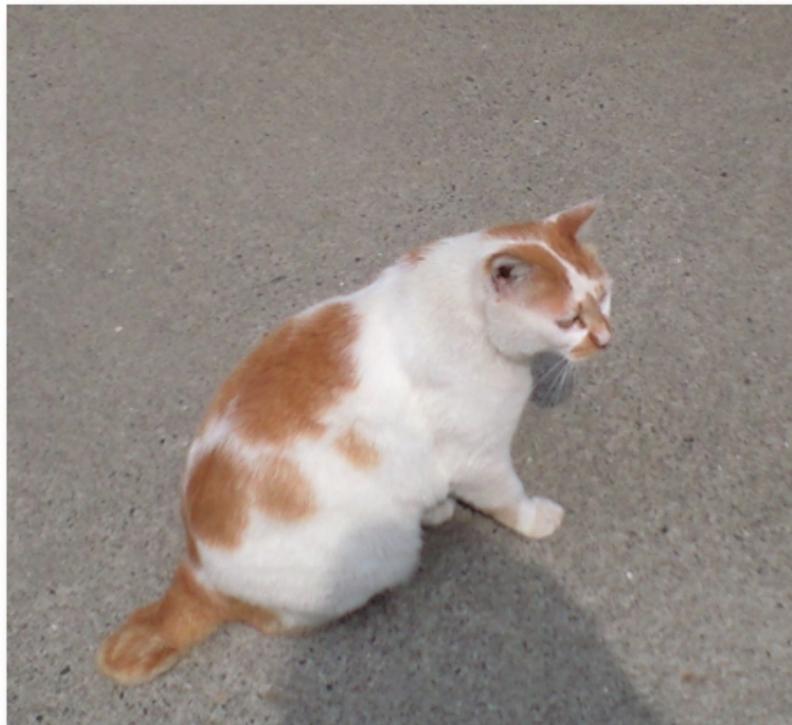
新しいサーバはapacheのバージョンも上がったし、多少速くなったと思う。
このトラブルのことは自宅サーバをやっている方には多少参考になることもあるか
もしれないので、明日から少しずつ書いてみる。

23:29:43 - belle - No comments

2011-06-16

寺の猫、アジサイ

先日撮った寺の猫。飼われているようで人懐こい。
ウチのベルとは「猫相」がちょっと違うが、寄ってきた。
もう1枚は咲きつつあるアジサイ。





今回のサーバトラブル その1

居間でじっくり外したマザーボードを眺めていると、どうも壊れていない感じがしてきた。

だいたい電子工作好きというのは、ハンダづけをいっぱいしたいものかもしれない。マザーボード上の全電解コンデンサを（70個ぐらい？）取り換えてみるのは酔狂だろうか。換えてからパソコンショップに持ち込み、動作確認をしてもらい、次の機会がもしあったら使うということで。やっぱり酔狂かな。

でも、今回のサーバトラブルも前回と同じように、電源ユニットのみが壊れたのではないかと思えてきた。

Debian GNU/Linux lennyのphpのバージョンはいまのところ「5.2.6」。ところが新サーバのsqueezeは「5.3.3」。プログラムの関数などの仕様が変わったところがあって、サーバ移行でエラーを吐いた。

Apache2のerror.logは「#tail -f /var/log/apache2/error.log」で確認できる。仕様の変更にしたがっていくつかの変数名などを修正した。

22:20:14 - belle - No comments

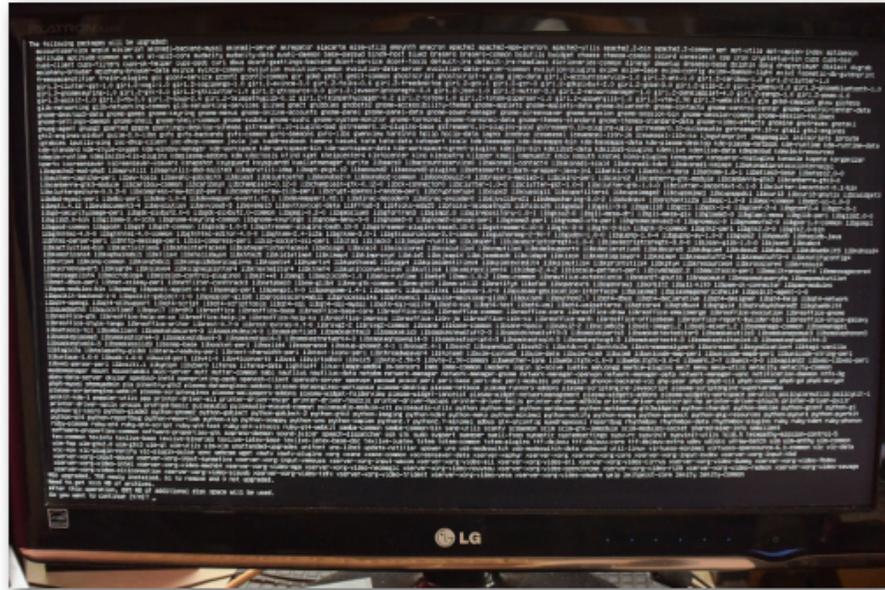
2015-09-09

デスクトップパソコンの**upgrade**も始める

デスクトップパソコンといっても次期Webサーバなのだが、Debian7なのでDebian8へのupgradeをした。

しばらく後にサーバのupgradeも行わなければならないが、いくつかupgradeするといろいろ気づくことがある。

写真は「apt-get dist-upgrade」で表示される画面。



今回、Apache2.2からApache2.4への標準パッケージの変更があったが、2.2の設定ファイルでも、[Apache2の設定](#)の9行目あたりの「Options Indexes FollowSymLinks MultiViews」で、「Options -Indexes FollowSymLinks MultiViews」などと、1つだけマイナス記号をつけるとほかにプラス記号をつけないと動かないことがわかった。「Options -Indexes +FollowSymLinks +MultiViews」などとしなければならない。Apache2.4では設定ファイルの書き方に大量の変更点があるらしい。

数分後記：あれ、すでに2.4に設定ファイルが自動的に書き換えられているのかな。でもちゃんと動いている？

22:26:36 - belle - No comments